

グリーンアルファ

令和3年1月1日発行
第123号



筆者（木人）

冬の楽しみ —— 薪割日記 ——

私の冬の楽しみは、裏山の手入れと薪割です。「薪は三度人を温める」というアメリカのことわざがあります。一度目は薪を割る時、体全体を温める。二度目は薪を燃やす時、体の外側を温める。そして三度目はその火で料理を作って食べる時、体の内部を温める。この「三度温める」を具体的にご説明しましょう。

一度目の温まりです。原木は、伐採業者から購入したり、裏山の木（クヌギ、コナラ、サクラ）を伐採したりして調達しています。体力維持のため、なるべく斧を使って薪割をします。原木の中には、直径60cmを超えるような大物や二股の割れにくいものもあります。

このような時は、楔の出番です。楔はハンマーで少しずつ打ち込んでいきます。楔の長さの半分程度まで打ち込むと、突然メリメリと音がして原木が裂けていきます。薪割機も使いますが、油圧でゆっくり割れるためか、ささくれ立つのが難点です。薪は薪棚で1年間乾燥させます。本当は2~3年乾燥したいところですが薪割が迫いつきません。

二度目の温まりです。一番気を使うのが着火です。薪ストーブの苦情の多くは着火の時の煙と匂いです。薪ストーブ仲間の友人からヨーロッパで主流の方法は上からの着火であると聞きました。薪を井桁状に組み、その上に細い薪を置き、着火剤を載せて着火する方法です。この話を聞いてから、私もこの方法で着火しています。

着火後だんだんとストーブの温度が上がっていきます。オレンジ色の炎からやがて二次燃焼のオーロラのような青い炎へと変化していきます。穏やかで心地よい温まりを楽しんでいます。

三度目の温まりです。これはもっぱら焼き芋です。鉄鍋（ダッチオーブン）に石を敷いて芋を載せ、蓋をしめてストー

ブの天板に載せる、これだけです。約2時間あまりで焼き芋の出来上がりです。さあ食べようとしたとき薪ストーブ仲間から電話がありました。以下仲間との会話です。（太字筆者）

「先日、知人から山の相談があったんだ」「どんな？」「ナラ枯れにやられる前に、山の木を伐って更新したい。以前は伐採業者が買ってくれたのに、業者に聞いたら逆にお金がかかると言われた。どうにかならないだろうか。近くに道路があり、枯損木が倒れたりしたら心配だ」「どんな山？」「面積は、3反（0・3ha）樹種はコナラ、樹齢40年、地力は中といったところかな」「コナラ林を更新したいということだけど、シカの被害のあるところ？」「シカの被害はないところだよ」「森林境界は？」「コン柱（コンクリートの境界杭）が入っているからはっきりしている」「秩父では、しいたけ原木は1立方メートル当たり3万5千円が相場らしい」「結構いい値段だね」「樹種がコナラということだから、なるべく多くしいたけ原木を探るとして、残りが薪の原木といったところか」「材積（森林の資源量単位はm³）はどのくらいかな」「今度案内してもらおう？」「そうしよう」「なんとか収益を所有者にも還元したいよね」「そうだね。そうじゃなきゃ更新伐採は進まないよね」

会話の後、ようやく、焼き芋（紅はるか）をいただき三度目の温まりです。

日本の広葉樹の9割がチップ利用という報告もあります。広葉樹林は宝の山です。克服すべき課題もありますが、資源を無駄なく使い付加価値を付けて経済的に広葉樹林の再生を図る大きな流れができると期待しています。その大河の一滴となれるよう日々薪割に励んでいます。

公益社団法人 埼玉県緑化推進委員会
代表理事 松村一郎

イベントのお知らせ

黒浜沼冬の野鳥観察会

1月16日(土)

9時30分～12時
(雨天中止)



集合場所 蓮田市環境学習館 9:20
蓮田市大字黒浜1061 ☎048-764-1850

参加費 無料 一般 300円 30人先着順 締切1/13(水)

▶ 昨年は絶滅危惧種のハイタカを観察することができました。

山崎山の雑木林 自然観察会と保全作業

2月13日(土) 9時30分～11時30分(小雨決行)
雨天の場合は2月21日(日)に延期

集合場所 「新しい村」ステージ前 9:30
宮代町字山時777-1

参加費 無料 要 不要

▶ 里山保全に興味のある方や、自然の中で身体を動かしてみたい方は是非ご参加ください。
▶ 共催：宮代町



トラスト地散策と シイタケのコマ打ちを楽しもう

3月6日(土) 10時～14時

集合場所 下記の2つから選択

- ①東武東上線武蔵嵐山駅改札口 9:00
- ②JA埼玉中央嵐山農産物直売所 9:15

持参 昼食、敷物など

参加費 300円 一般 500円

30人(抽選)
締切2/16(火)消印有効

申込 往復はがきに

- ①代表者名
 - ②グループ全員の名前、学年 ③住所
 - ④電話番号 ⑤会員/一般の別 ⑥集合場所を明記し、協会まで送付。
- 応募締切後、抽選の上返信はがきにてご案内いたします。



▶ 作ったシイタケの原木はお一人様1本お持ち帰りいただけます。



第21回さいたま緑のトラスト 写真・動画コンクール入賞作品展示会

2月2日(火)～2月12日(金)

8時30分～17時
(ただし、初日は14:30から、最終日は12:00まで)

場所 大宮第二公園ギャラリー
さいたま市大宮区寿能町2-405
☎048-642-2228

参加費 入場無料

狭山湖とトラスト樹林地の冬鳥

2月20日(土) 9時30分～14時30分

集合場所 西武狭山線西武球場前駅 9:30

持参 昼食など

参加費 無料 一般 300円

20人先着順 締切2/16(火)

▶ 狭山湖とトラスト保全地で野鳥観察を開催します。



【対象】 中学生以上、小学生以下の参加は保護者が同伴してください。

【持ち物・服装】 <共通> 筆記用具、水筒、長袖、長ズボン、活動しやすい服装・靴で御参加ください。

<自然・野鳥観察会> 双眼鏡、図鑑などの観察用具、雨具、帽子

<保全活動> 軍手、作業靴、帽子 <クラフト工作> 軍手

【申込】 トラスト協会事務局まで Web 又はお電話にてお申し込みください。

申し込みはこちら



各イベント等の詳しい説明は、ホームページをご覧ください。

ご案内

ホームページ ● 入会やイベントの申込ができます。 [さいたま緑のトラスト 検索](#)

メーリングリスト ● イベントの募集や環境保全に関する相談など、気軽に情報交換が行える場として開設しています。自然に関するテーマであれば、協会員の方は誰でも投稿可能です。

申込：メールにて、お名前、連絡先、会員番号をトラスト協会まで御送付ください。

宛先：main@saitama-greenerytrust.com



さいたま緑のトラスト基金への大口寄附者
(10万円以上、令和2年9月～11月)

埼玉県信理法人会

キャピタル・インターナショナル株式会社

株式会社 スーパーバリュー

株式会社 システムアドバンス

株式会社 東農園

株式会社 内山商事

株式会社 メガネマーケット

仙匠名希望1個人、2法人

[敬称略]



新しく会員になられた方々
(令和2年9月～11月)

【個人】 4人

[敬称略]

<会員数(11月末現在)> 1,394人・団体



保全地紀行 冬 高尾宮岡の景観地

まぼろばの郷



キツリフネソウ



ムサシブミ



ミニ円松づくり

緑のトラスト第8号地は、大宮台地の西側に位置し、標高30mほどの台地を谷津が深く浸食し起伏に富んだ豊かな自然環境は、北本を代表する場所です。

近くには野外活動センター、桜公園があり、谷の奥には氷川神社、飯島神社、須賀神社と三つ神社があり豊かな歴史的要因気を漂わせています。

ここ8号地は、斜面林、竹林(宮竹、孟宗竹)、湿地、湧水があり、里山の風景を残しています。最近では、貴重な植物ムサシアブミ、金蘭、キツリフネソウ、ゴマキ等が発見され、これらの保全活動やクラフト教室などに、我々ボランティアスタッフが一同ひとしお力が入り頑張っています。

この様な自然豊かな8号地を一度訪れて見てはいかがでしょうか

8号地
ボランティアスタッフ代表
佐山 一男

トラスト 昆虫 4

バッタ目キリギリス科

クビキリギス (Euconocephalus thunbergi)



塘 久夫
5号地ボランティアスタッフ。小さい時から昆虫好きで野山を駆け回っていました。今は小さい子供たちと一緒にトラスト地で昆虫を追い回しています。

イソップ物語の「蟻とキリギリス」という寓話は有名で、この話では“働き者の蟻は、夏にせっせと働いて食べ物を貯めておくので冬になっても困らないが、キリギリスは夏じゅうバイオリンを弾き歌って遊び暮らしていたので冬になると食べ物がなくなって、蟻に食べ物を下さいと頼んだが、断られて死んでしまう”という筋書きになっています。確かにふつうのキリギリスは冬には死んでしましますが、クビキリギスは成虫で冬越しするのです。だから真冬に保全作業で林床の落ち葉を片付けている時に、枯れ草の下から顔をのぞかせ、“何をするんだ！”と抗議するような顔を見つかることがあります。イソップがこのことを知っていたら寓話は違った筋書きになっていたかもしれません。



真冬の雑木林のクビキリギス

さて名前の由来は「首切り・ギス」です。噛みつくこと決して放さず、引っ張って放そうとすると首が切れても放さないギス(コオロギ)ということなので、ちょっと恐ろしい気もします。たしかに大きな顎が発達して口の回りが赤いので、まるで血を吸ったようにも見えるキリギリスです。

(塘 久夫)

令和2年度緑のボランティアセミナー（報告）

日時：9月5日（土）～11月14日（土）全6回
会場：トラスト保全地含む県内各地 研修生：18名（うち修了生17名）

今年度も緑のトラスト運動に必要な知識と技能を取得するためのセミナーを実施し、野外の実技、座学にと熱心に受講いただきました。修了生は各号地のボランティアスタッフとなり、トラスト運動に参加されます。



セミナー終了記念写真

研修を終えて「緑のボランティアセミナー」

研修生 清水 仁志

今回、私が一番感じたのは、先生方の自然に対する興味や関心の強さ、知識の深さでした。何よりも自然が好きでこの気持ちを皆に伝えたいという思いを感じ、その雰囲気には引き込まれ、もっと聞きたい、もっと知りたいという気持ちになりました。信念があり思いが強い方の中には、張りがあり、よく通るものだと改めて実感することができました。私も自然体験活動指導者を目的に受講しましたので、指導者がどうあるべきかを学べた気がします。また、保全活動についても保護との違いなど一から学ばせていただき、人が手を加えて「生きた森をつくる」活動だということが理解できました。今後、活動に参加する中で具体的な方策を学び、知識や技術を身に付け、人に伝えられるように自分を磨きたいと思います。とても素晴らしい研修ありがとうございました。

研修を終えて

研修生 大谷 敬子

以前から自身の生活の中で、何か「自然」と関わりたいという思いがありました。広報でこのセミナーの募集を見たときに、これを一つのきっかけとして、自分の野外活動の幅を広げていければと思い受講を決めました。

6日間の研修では、危機管理マニュアルや救急法などボランティア活動をする上で大事なことも講義していただきましたが、私にとって一番の収穫は、実際のトラスト地で行われた実技や、活動されている講師の先生方の生き生きとした楽しいお話であり、ボランティア活動がとても魅力的に思えたことでした。

今回このセミナー受講という良い機会をいただきましたので、これをきっかけとして、地元やトラスト地の保全活動やボランティア活動に積極的に関わっていきたく思っております。ありがとうございました。



観察指導法



間伐

会員の集い(公開講座)

11月14日（土）会場：埼玉会館 参加者：50名

公開講座では、八木橋講師より「自然を生かした体験活動」と題して、自然の素晴らしさを知ってもらう体験活動の楽しい企画についてお話していただき、会員獲得の参考になりました。

樹木医の安井講師より「人と森のかかわり」と題して、ナラ枯れ問題について、埼玉県の状況、調査、防除の方法など私たちができる被害防止、森林管理の大切さをお話いただきました。

当協会の太田理事長より「最近の森林政策」と題して講演が行われ、豪雨災害や新型コロナウイルス感染症のまん延と自然環境の関係を幅広くお話していただきました。



八木橋講師



安井講師



太田理事長

大野知事への表敬訪問

10月13日（火）当協会の太田理事長、牧野副理事長、柳田事務局長が、大野知事にご挨拶いたしました。



中央に大野知事を挟んで

ボランティアスタッフによる保全活動を報告



大人のクラフト工作

11月18日（水）クリスマスリース、11月25日（水）竹細工が埼玉教育会館で行われました。



クリスマスリース



竹細工

皆さん、講師から教えていただきながら、一生懸命でした。

トラスト7号地と綾瀬川周辺の冬鳥を探そう

12月6日（日）トラスト7号地で「赤い実探し」を行ってから、綾瀬川沿いを通り、深作遊水地まで冬鳥を観察しながら散歩しました。天候にも恵まれ、暖かい日差しを浴びながら、のんびりと野鳥観察ができました。

本日観察できた野鳥はの36種類でした。



ドンッぽうや

公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内
電話▶ 048(824)3661 ファックス▶ 048(832)0292
ホームページ▶ <http://www.saitama-greenerytrust.com>
メール▶ main@saitama-greenerytrust.com
当協会に郵便物をいただいた方については、税額控除の特例を受けられます。詳しくは伊又は保啓恵へお尋ねください。

●会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小中高校生 永年(一括納入)	1人	1,000円 15,000円
家族		1家族	3,000円
法人		1口	10,000円



トラスト運動に御支援いただきありがとうございます。